

# 生成AI実証実験の 結果まとめ

2023年12月14日

生成AI研究ワーキンググループ



# 目次

- 生成AIとは
- 実証実験の概要
- 実証結果
  - 参加者アンケートとりまとめ
- 今後の方向性





**01**

生成 AI とは



# 生成AIとは

- 質問に従い、テキスト・プログラムコード・画像・動画・音声などの新しいデータを生成することができる人口知能システムの一つです。
- 代表的なものに、米国OpenAI社が開発し、文章生成AIの先駆けとなったサービスである「ChatGPT」があります。

電子自治体推進協議会「ChatGPT等生成AI意見交換会」

## 生成AI (ChatGPT) とは

### 生成AI

質問（プロンプト）に従い、テキスト・プログラムコード・画像・動画・音声などの新しいデータを生成することができる人工知能システムの一つ

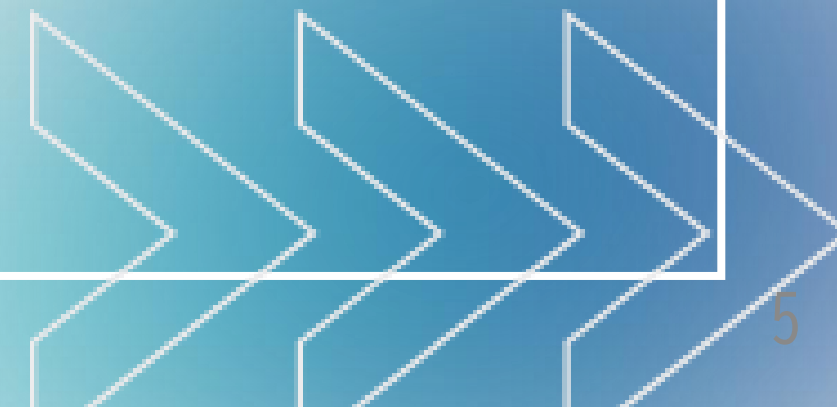
生成AIを活用したサービスの一例

文章	画像・動画	音声
 <b>OpenAI</b> <b>ChatGPT</b> 文章生成AIの先駆けとなったサービス	 <b>stability ai</b> <b>Stable Diffusion</b> 写真や絵画のような画像生成が得意	 <b>Microsoft</b> <b>VALL-E</b> 3秒間の音声サンプルで人の声をシミュレート可能
 <b>Bard</b> Googleの各種サービスと連携	 <b>Kaiber</b> "Linkin Park"のミュージックビデオに利用	 <b>HOYA</b> <b>ReadSpeaker</b> 44か国語に対応した音声合成、感情に沿った読み上げも可能
 <b>Alibaba Cloud</b> <b>通義千問</b> 将来は中国内の企業向けに提供	 <b>OpenAI</b> <b>Dall-E</b> 写真や絵画のような画像生成が得意	



# 02

## 実証実験の概要





# 実証実験の概要

---

## ◆ 目的

- 各課の視点で業務への活用可能性を検討し、業務効率の向上度合いや回答の精度を調査する
- zevo、LoGo AIの2つの試用ツールを比較検討する
- ガイドラインの策定等に向けた研究・検討を行う

## ◆ 参加者

生成AI研究ワーキンググループメンバーのほか、各部局からの参加希望者(上限2名まで)を含む40名

## ◆ 実施期間

7月28日(金)から8月31日(木)まで  
※zevoについては8月12日(土)まで

# 試用した2つのツールについて

LoGo AI アシスタント bot版

## LoGo AI アシスタントbot版

LoGoチャットでChatGPTが利用できる環境を提供するサービスです。

LoGoチャット上で新たに組織を立ち上げ、チャットボットとして職員からチャット上でbotアカウントに質問文を送付することで回答文が返ってきます。

自治体 zevo  
~Powered by ChatGPT for LGWAN~

## zevo(ゼヴォ)

LGWAN回線でChatGPTが利用できるサービスです。

LGWAN接続系のGoogle Chromeブラウザを起動し、チャットルームを作成して利用します。



# 03

## 実証結果

参加者アンケート結果のとりまとめ







## アンケート概要

---

### ◆アンケート実施期間

8月31日から9月13日までの14日間

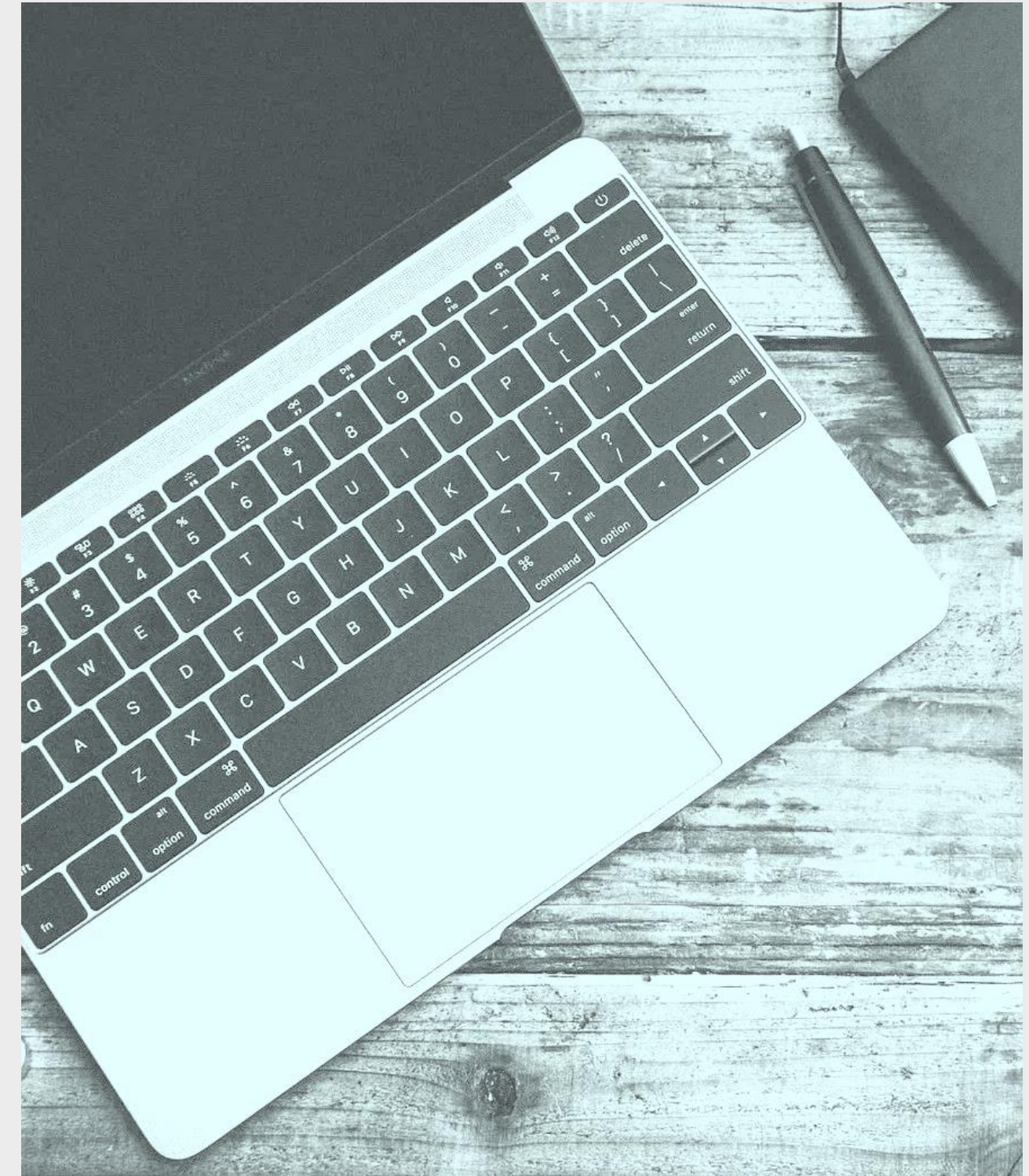
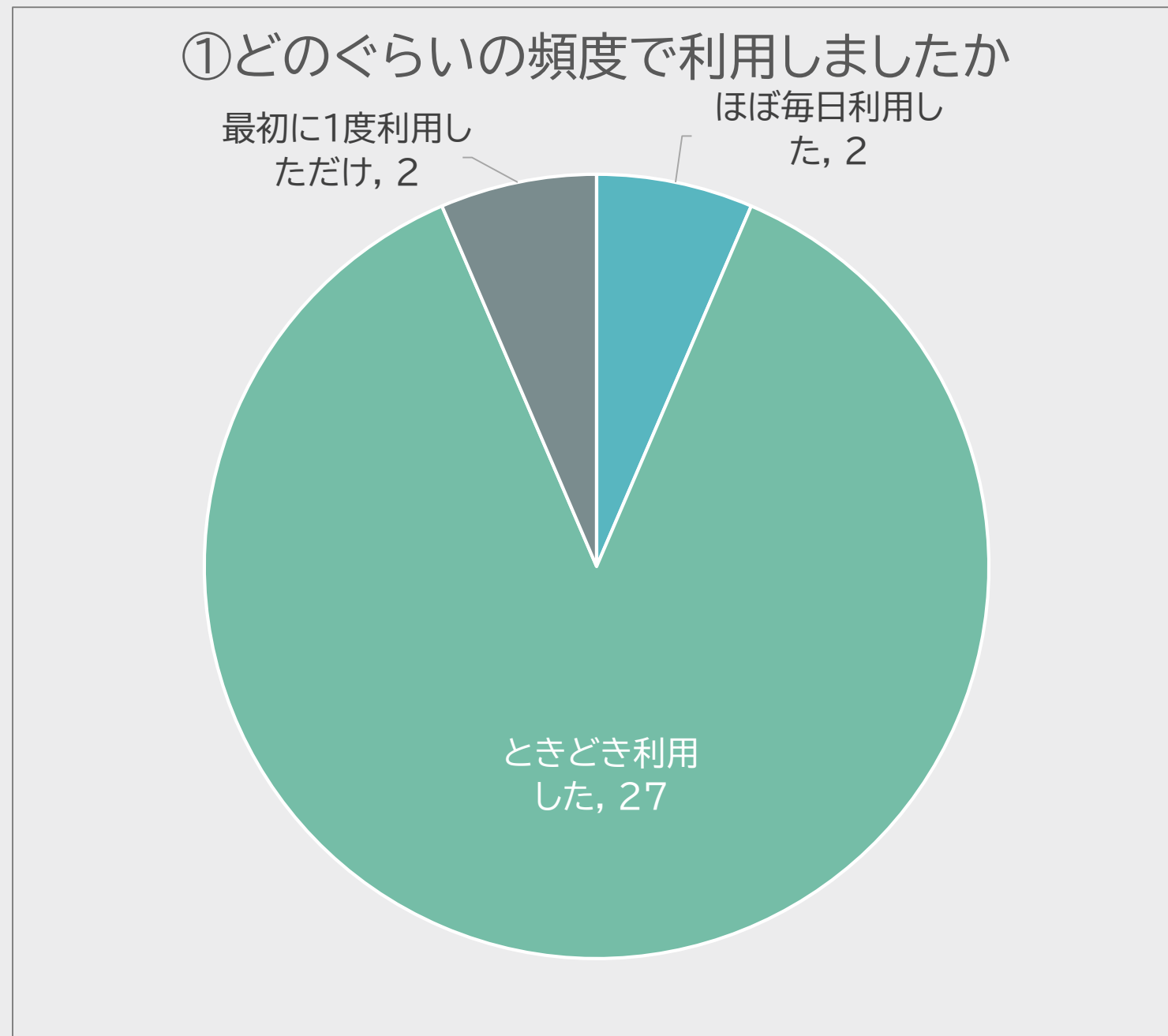
### ◆回答者数・回答率

参加者40名中、31名が回答  
回答率 約76%



## ①利用頻度について

- 「ときどき利用した」と答えた人が最も多かった。
- 「利用しなかった」と答えた人はいなかった。

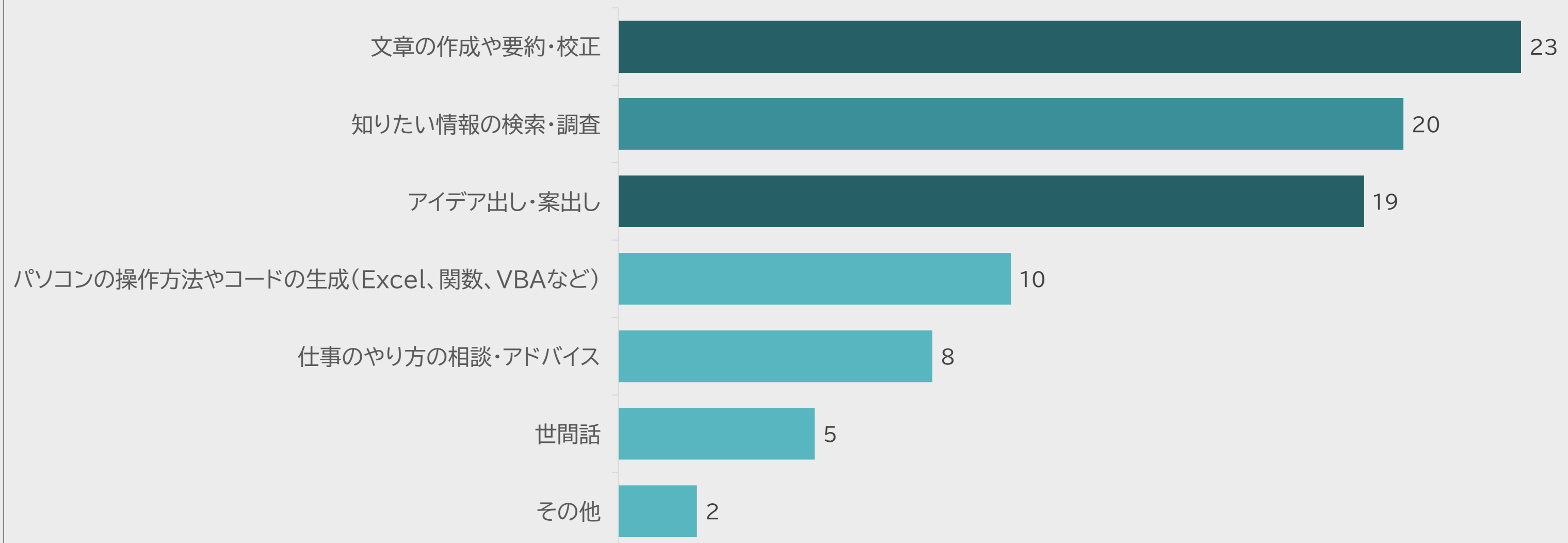




## ②活用内容について

- 生成AIが得意とする「**文章の作成や要約・校正**」「**アイデア出し・案出し**」の回答が多かった。
- 一方、生成AIが苦手とする「**情報の検索・調査**」についても多くの回答があり、今後ガイドライン等で生成AIの得意・不得意な分野について周知していく必要がある。
- 「その他」の中には「アンケートの分析」や「課題やタスクの絞り出しにおける抜け・漏れの確認」などがあつた。

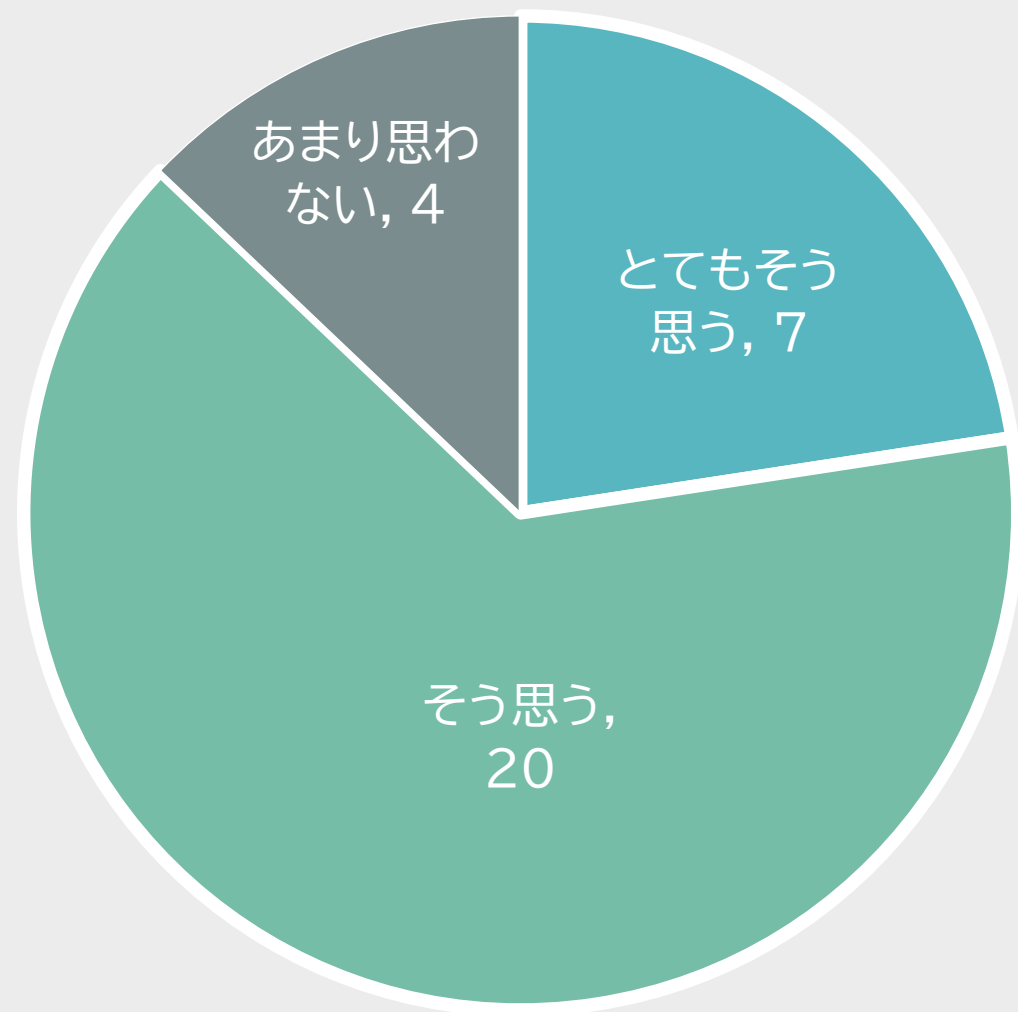
②-1 どんな内容に活用しましたか（複数選択可）



### ③業務効率化について

- 「業務が効率化できそう」と答えた人が9割弱で、前向きな意見が多かった。

③-1 業務が効率化できそうですか



- 「業務が効率化できそう」と答えた人へ「1日に何分ぐらい業務が効率化できそうか」

平均 22.5 分

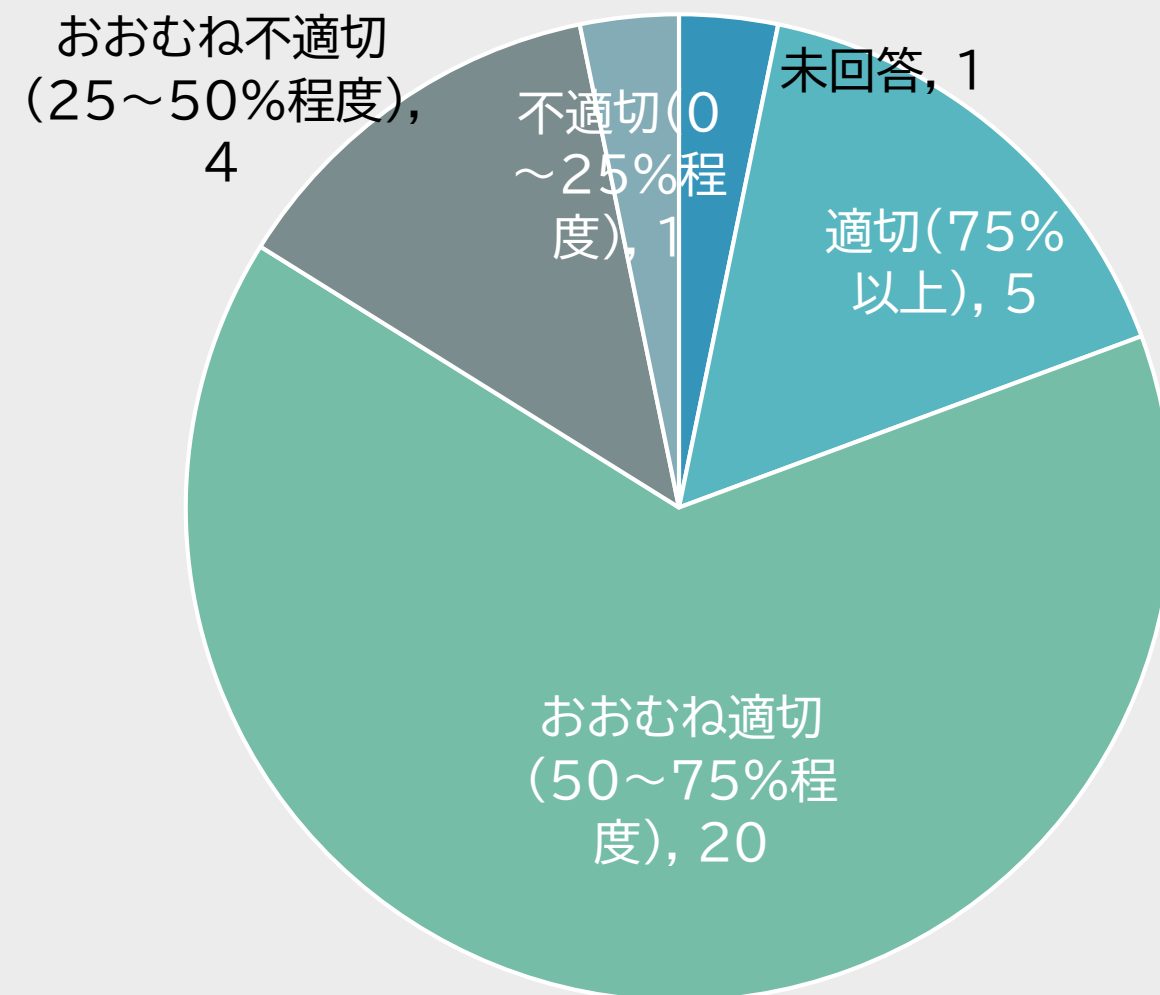
30分以上と答えた人の主な回答内容	30分未満と答えた人の主な回答内容
<ul style="list-style-type: none"><li>会議録の要約</li><li>Excel数式やVBAの補助、マクロ化</li><li>アイデア出し</li><li>多角的な視点が求められる事業の計画立案 など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>会議録の要約</li><li>Excel関数</li><li>アイデア出し</li><li>定型文の作成 など</li></ul>

- 内容には大きな差がなく、自身の業務内容と合致するかどうかによって削減効果時間に差が出ていると考えられる。

## ④回答精度について

- 「おおむね適切」と答えた人が8割以上。
- 75%以上を「適切」、50～75%を「おおむね適切」、25～50%を「おおむね不適切」、0～25%を「不適切」としてアンケートした。

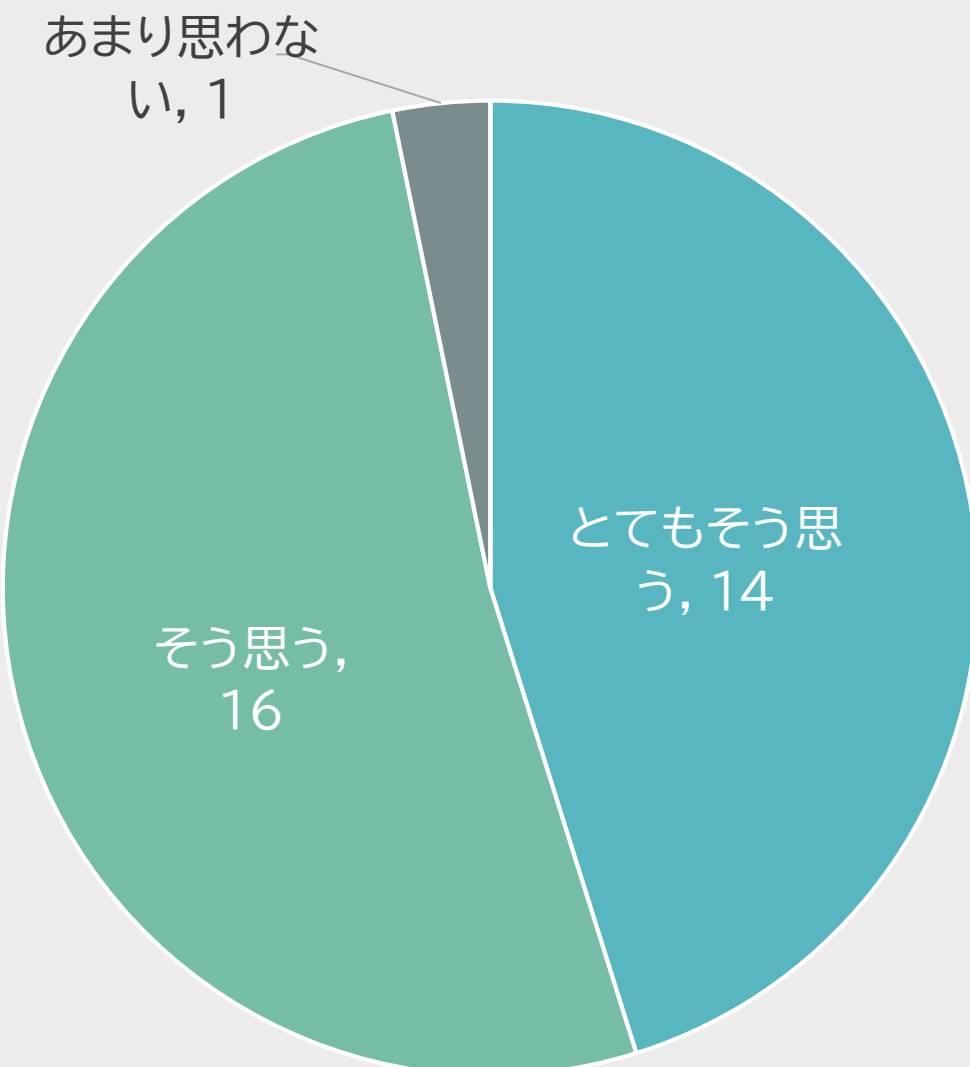
④生成AIの回答精度はどのぐらいでしたか



## ⑤今後の活用意向

- ほとんどの人が何らかの形で「活用したい」と回答。
- 参加した人は、生成AIに興味があるなど新しい技術への感度が高いことも理由の一つと考えられる。

⑤-1-1 今後、生成AIを活用したいですか

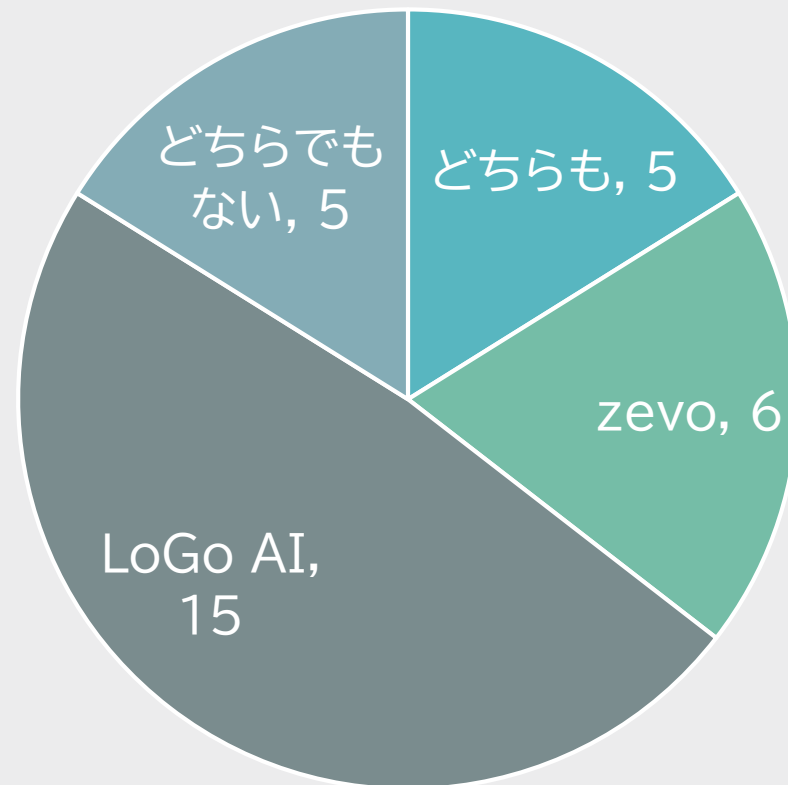




## ⑥ ツール比較

- LoGoチャットの延長で使えるLoGo AIにやや多く回答が集まった。
- ツール間の回答精度は人によって意見が分かれた。
- 「どちらも使いたい」と答えた人の意見では、**両ツールに大きな差異はなく、LGWAN系で使えることのメリットが理由のほとんどを占めた。**

⑥-1 どちらのツールを使いたいですか



### ◆ LoGo AIを使いたい人の意見

#### 理由

- LoGoチャットを常にかいた状態にしているので簡単にアクセスできる。
- 同じ質問を試みたが、LoGo AIの方が詳しく正確だった印象がある。
- LoGoチャットから簡単に切り替えができて便利。ただ、両者に大きな差はないと思う。
- 同じ質問を複数回行った時の回答内容が豊富。
- 回答精度がzevoよりもよかった。

➤ LoGoチャットへの慣れ、立ち上げの手軽さに優位性

### ◆ zevoを使いたい人の意見

#### 理由

- メンション不要で使用できる。
- LoGo AIは「質問を受け付けました」というメッセージが回答の前に挟まれるため内容を見返すときに邪魔。
- 都度メンションする手間がなく、トークごとに要望を出せて便利。
- VBAコードだけをコピーできるコマンドが表示されて利便性が高い。
- zevoは精度が高く比較的求めているものに近い回答をくれる。

➤ メンション不要で使えること、トークごとにチャンネル開設ができることなどに優位性

# クロス集計 その1

## 業務効率化と活用内容

活用内容（複数選択）別に、業務効率化に資すると答えた人の人数

- 「業務が効率化する」と答えた人は、「アイデア出し・案出し」や「Excel関数などへの活用」まで含めて、網羅的に活用した人が多かった。
- 「業務が効率化しない」と答えた人は、主として「文章の作成や要約・校正」「知りたい情報の検索・調査」に活用した人が多かった。
- 使いこなしていくことで業務の効率化に資すると考えられることから、好事例の展開をしていくと良いのではないか。

効率化	1_文章の作成や要約・校正	2_知りたい情報の検索・調査	3_仕事のやり方の相談・アドバイス	4_アイデア出し・案出し	5_パソコンの操作方法やコードの生成(Excel、関数、VB)	6_世間話	7_その他
そう思う	20	16	7	19	10	4	2
そう思わない	3	4	1			1	

## クロス集計 その2

### 回答精度と活用内容

活用内容（複数選択）別に、回答精度について答えた人の人数

- 「回答内容が適切」と答えた人は、網羅的に活用した人が多かった。
- 「回答内容が不適切」と答えた人は、主に「文章の作成や要約・校正」「知りたい情報の検索・調査」に活用した人が多かった。
- 生成AIは情報の検索や調査にはあまり向いていないことや、生成AIの得意・不得意分野を周知していく必要がある。
- 将来的には、自治体内部のデータを学習させる専用ツールの開発などの動向も見極めていく必要がある。

回答精度	1_文章の作成や要約・校正	2_知りたい情報の検索・調査	3_仕事のやり方の相談・アドバイス	4_アイデア出し・案出し	5_パソコンの操作方法やコードの生成(Excel、関数、VB)	6_世間話	7_その他
適切	18	15	7	16	9	3	2
不適切	5	4	0	2	1	2	0
未回答		1	1	1			

# 自由記述

緑字：プラス意見  
赤字：マイナス意見  
青字：要望・提案

## ⑤-1 活用したい内容・どのような業務でメリットがありそうか

No.	回答
1	文章の校正や照会時の要点整理
2	新しい試みで、非常に便利であると感じたので今後も使いたい。 ただ適切なプロンプトを作成するなど、使いこなせていない感じもあるので、もっと慣れるとより効率的に使えるのかなと感じました。 使用したい業務としては、議事録の要約、会議資料の作成、VBAなどです。
3	VBA等のコード生成に活用できるから(繰り返し業務の効率化)。膨大な文書の概要を短い時間で把握できるから。通知文や挨拶原稿などのベース(素案)を容易に生成できるから。
4	Yahoo!やGoogleからわからないことを検索したほうが、確実ですが、インターネット系がつながりにくいときなど、すぐ聞きたいときは、LoGoチャットのchatGPTですぐ聞けるので、また利用したいと感じました。
5	AI生成ツールの利用が一般的になると思います。早い段階から生成AIツールに慣れておきたいと思うので利用したいです。
6	アイデア出しや文章の作成は自分の苦手分野でもあります。アイデア出しに限らず自分の苦手分野を補う形で生成AIツールは利用できそうだったので今後も利用したいと思いました。 ③-3で記載したアイデアを出さないといけないような業務でメリットがあるのではないかと思います。
7	業務を進めるに当たってちょっとしたきっかけをもらえると思うから
8	アイデアの壁打ちに使いたい。
9	・キャッチコピーや文章の書き出し案など、正解を求めない業務におけるアイデア出し ・行政文書をSNS向けに要約・校正 ・新規VBAコードの構築 ・作成済みマクロ、関数等の改良
10	ひとつの情報源となるため。企画分野でメリットがあると思う。
11	アイデア出し・案出し等のイチから何かを考える業務に掛かる時間を短縮できると思います。
12	ネットで分からないことについての答えを求めるより、聞き方にもよるがこちらが求めている内容に近いものを回答しており効率化が見込めるから。 回答文等素案の作成や、アイデア出しなどの業務。

# 自由記述

緑字：プラス意見  
赤字：マイナス意見  
青字：要望・提案

## ⑤-1 活用したい内容・どのような業務でメリットがありそうか

No.	回答
13	議事録を要約するときを使用したい。作成する時間が短縮できるから。
14	毎日使うわけではないが、何か困ったときや悩んだときに参考としていつでも使える環境があれば便利だと思います。
15	・計画策定業務 ・(AIの精度が上がる前提で)一般的な調べもの(インターネット接続系を立ち上げ、グーグルで検索し、どの検索結果が求めているものかを検証するという一連の時間の短縮ができる)
16	一般的な文書の添削には使えそう。また将来的に専門分野別に特化し、内容が成熟して来たら、他の意見収集などで使えそう。
17	挨拶文や報告書の作成の際に、元となる文章を作るのには活用できそうです。
18	一から文章を作成しなくていいから。また、市民等からの一般的な問い合わせには、特に有効と思う。
19	通知文や啓発チラシなど、市民向けに出す文章の素案を作るのに適しているの、時間短縮できると思います。 ただし、現時点での生成AIの使用にあたっては、使用者が生成された文章の正誤について確認できる範囲に限られると感じました。
20	情報を検索し、それぞれの情報を比較検討しながらしごとの進め方やアイデア出しが一連でできるため時間短縮が図れる。ただし、個々の情報の真偽が気になり、確認に要する時間は不明
21	会議録の要約や文章作成などで重宝すると考えます。 また、アイデア出しなど、考えを深めることにも役立つと考えます。
22	使い方次第で、業務時間を削減できると思うから。 文章の校正や議事録の作成に非常に時間がかかっているの、それらに使用することができればメリットがあると思う。 また、記事を書く業務で、文章の文字数制限があるときに、指定の文字数内で語句の案出しをお願いすると、人間が考えるよりも様々なボキャブラリーが出てくる点でメリットがあると思う。
23	今後職員数が減少する中で、企画力が問われる業務が増えると思う。その際にアイデアの壁打ちができる存在として生成AIに魅力を感じる。



# 自由記述

緑字：プラス意見  
赤字：マイナス意見  
青字：要望・提案

## ⑤-1 活用したい内容・どのような業務でメリットがありそうか

No.	回答
24	まずは文章作成AIで十分。 それ以外のものを使うためには、 ・有用な結果が出るよう使いこなす ・結果が問題ないか確かめる の2つが必要になるため、職員には難しいかもしれない
25	市民公募委員選考のための小論文のテーマとか複数のアイデアを並べて検討したい時など。 何か正確性を要求される仕事は難しいようだが、アイデアの数が欲しい時など、10個でも20個でも言われた数だけ瞬時に表示されるのは見事です。
26	何かを調べるときに、いくつか挙げてくれるため、大まかに情報を把握することができる。
27	文書、資料作成の際に、時間を短縮することができる。
28	法制に関する正確な回答を求める用途においては、現状の回答精度では使用は難しい。 事業実施のアイデア出しに利用するなどであれば活用できるかと思う。

# 自由記述

緑字: プラス意見  
赤字: マイナス意見  
青字: 要望・提案

## ⑤-2 改善してほしい点

### ◆ LoGo AIについて

No.	回答
1	使用期間の関係から主にロゴチャット版を使用していましたが、 毎回 @LoGo AIアシスタント GPT-3.5 さんと打つのがめんどくさかったです笑
2	いちいちメンションがめんどくさいなど感じました。トーク相手はAIのみなので、メンションなしで質問できるようになると、より使いやすくなる感じました。
3	@でメンションが必要なのが面倒くさい。 chatGPT4で利用したい。
4	毎回メンションするのが手間 個人情報の判定制度が低い 字数が1000字程度のため、アンケートの分析やVBAの作成など長文を前提とした質問に難あり 質問によっては回答が遅い 本家のChatGPTのように前提を学習させたトークルームを作成したい(例:このトークルームではTwitter発信用に絵文字を含め140字で回答すること、など)
5	基本的な質問で回答を間違えているものがあり、間違いを指摘する質問をしても頑なに認めようとしないので、利用者で正確な情報をインプットする機能があればいいと思う。
6	投入できる文字数が少ない
7	概ね狙った内容が生成されていたが、啓発文章の生成時に出展を出すように指示したところ、出展内容そのものも生成しているようであるため、引用した内容の出典元について出力する機能があれば良いと感じます。
8	回答のスピードはZEVOよりやや遅い印象です。一括で回答が生成されることもあり、余計にそう感じました。

### ◆ zevoについて

No.	回答
1	LoGoチャットのchatGPTの方が、より適切な回答が得られたので、zevoのchatGPTは、もう少し正確に回答できるようになってほしいです。
2	chromeでしか起動できないのが不便。ロゴチャットのように庁外や時間外でも使いたい(特に庁外) 過去の回答を見返すための単語検索機能がほしい
3	2つの生成AIツールのうち、zevoは精度が高く比較的こちらが求めているものに近い回答をくれた。
4	生成される内容が的外れ(宝塚市の事を聞いているのに他の市町村の説明など)なものが多いと感じた。
5	過去の回答結果を検索するのは不便に感じました。

- LoGo AIでは「@を付けてメンションすることが手間」という意見が複数あった。  
トークルーム内で複数名の職員でボットを活用するメリットについて検討する必要がある。
- zevoでは「過去の回答の検索性が低い」という意見が複数あった。
- 回答の精度については人によって差がある。

# 自由記述

緑字：プラス意見  
赤字：マイナス意見  
青字：要望・提案

## ⑤-2 改善してほしい点

### ◆全体について

No.	回答
1	文章の要約をお願いすると、 <b>間違っ</b> た要約をされる時がある点
2	回答の精度は上げていってほしいが、最終的には、使用する人がチェックする必要ある。また、 <b>横文字の使用が多い</b> 。あまり最新の用語は、市民向けの回答にはなじまない。
3	回答の精度は、内容によるが劣るものがありました。同じプロンプトでも回答内容は都度変わります。 <b>欲しい回答をもらうためには、プロンプトに工夫が必要</b> なのだと思いますが、そのノウハウが必要と感じました。
4	過去の古い情報(法改正や統計データ)に基づいた回答をしていないか、 <b>確認するすべがない</b> ため活用しづらい。
5	概念的な回答が返ってくることもあり、 <b>回答に具体性がない</b> ときがあった。
6	情報の <b>検索時の回答に不適切な点が多い</b> ところ
7	<b>正確性に欠ける</b> ところは改善を求む。 上手な質問の仕方をもっと勉強したい。 生成AIが学習して <b>より詳しく正確な知識を持つことを期待</b> したい。 具体的な成果が表れる質問もよいが、仕事に行きづまったときなど、悩み相談ができれば嬉しい。
8	自治体の業務で使用するなら、 <b>法令の知識程度は正確に持っていて欲しい</b> 。

# 自由記述

緑字：プラス意見  
赤字：マイナス意見  
青字：要望・提案

## ⑤-2 こんな機能があったらいいと思う点

### ◆こんな機能があったらいい

No.	回答
1	著作権フリーを前提とした画像生成機能。生成に関連した参考URLの表示機能(bingのような機能)。
2	パワーポイントでの見せ方とかを画像で教えてくれる機能があれば便利かなと思いました。
3	特にありません。
4	①検索用途でも使えるようになればいいなと思いました。現在の宝塚市の市長は誰ですかと聞いたら歴代の市長でもない謎の男性の氏名を答えました。こういった調べものに対しても正確に対応できるようにすればさらに便利になるのではないかと思います。 ②対話ができるようになればいいなと思います。現状はより正確な回答をしてもらうためにこちらが質問をするときに細かな条件を盛り込んでいると思いますが、おおまかに質問をしたら生成AI側から正確な回答をするための条件を色々聞いてくれたりしたらより活用しやすくなるのではと思います。
5	条例や規則等を覚えこませて、それに基づいて文章を作成する機能や誤った回答が出てきたときに、正しい回答に修正できる機能があればいいと思う。
6	一度に送付できる文字数に制限があるため、長文を要約してほしい際にまとめて入力できるようになると良い。他のファイル(WORDやPDF等)を読み込んで要約作業ができるようになると尚良い。
7	生成AIツールに問い合わせた後も使えると思った回答に対してお気に入り機能(いつでも引き出せる機能)があれば便利だと感じた。
8	現在は法務コンシェルジュなどで調べることができるが、今後、行政実務に特化したAIツールがあれば、担当者が交代した際の職員のサポートになると考える。
9	精度が高く回答が返ってくる問いかけの仕方について、入力時に定型のフォーマットが表示されるなどの機能があれば便利かと思う。

# 自由記述

緑字：プラス意見  
赤字：マイナス意見  
青字：要望・提案

## ⑤-3 おすすめの活用方法

No.	回答
1	Excelの数式や、VBAでプログラミングの機能に長けていると感じました。 特にVBAにおいては、こんな風に動くようなコードを書いてほしい とぼんやり書くだけで、正確な提案、答えが返ってきてびっくりしました。
2	コード生成。文書作成。文書要約。画像生成。
3	皆さんも使っておられたかと思いますが、文章作成や校正・要約には、かなり適切に答えてくれるので、便利です。
4	エクセルの関数を調べるのにかなり便利だなと思いました。「vlookup関数を分かり易く説明して」と聞くと参考書ばりに丁寧に解説してくれ、また、「vlookup関数の使用例を教えて」と聞いてみたところ、例を2つつけてかなり細かく説明してくれました。
5	あるアイデアに対する想定質問の作成など
6	アイデア出し・案出し 抜け漏れの確認(課題やタスクの絞り出し) 相談相手
7	エクセルで条件が重なる関数を求めたいときに適切な回答をくれた
8	期待する答えが得られない場合もあるが、アイデアだしなどで使用したときは、得られた答えがヒントになることもあった。 「困ったらとりあえずAIに聞く!」という活用も一つだと思う。
9	なろう系小説の執筆や添削。希望したシチュエーションに応じた文体に変化するなど、なかなか興味深かった。
10	まだ思いつかない。
11	制度設計をする際、観点に抜け・漏れがないように満遍なくアイデア出しをすること
12	全く知らないことについて、大まかに把握することに便利だと感じた。 インターネットで調べることもできるが、こちらのほうが効率がいいと感じた。 (情報の正誤はあるが、それを差し引いてもメリットを感じた)



# 自由記述

緑字：プラス意見  
赤字：マイナス意見  
青字：要望・提案

## ⑦ その他、自由記述

No.	回答
1	AIツールについてはニュースなどで話題になっているのは見ていましたが実際に使える機会をいただけると思っていなかったため、今回取組に参加させていただいて非常にありがたかったです。百聞は一見に如かずといいますが、 <b>実際使ってみると色々な発見があり非常に勉強になりました。</b> またそのうちに一般化するなどして、使える機会が増えれば非常にうれしいなと思います。
2	今後の業務においては必要不可欠になるものと認識しています。 <b>最終的な判断は人がする、あくまで副操縦士(パートナー)的な存在として活用していくべき</b> と考えます。
3	生成AI実証実験に参加させていただいて勉強になりました。今回のAI生成ツールは物足りなさを感じましたが、 <b>伸びしろがあると感じました。</b>
4	今回使用したのがchatGPT3.5だと思いましたが、 <b>4も試す機会があれば使用してみたい</b> なと思いました。
5	今回の様に <b>LGWAN環境で使えるツール</b> がありがたいです。
6	人員が不足している中、ベースとなる叩き台を素早く大量に生成してくれるAIは非常に助かる。正誤確認や回答の改良は人間の仕事として棲み分け、AIを活用した業務改善に取り組みたい。 また、文章の作成や関数・VBAの作成など、 <b>職員によってスキルにバラツキのあった業務についてもAIが底上げしてくれるので、人に依存した業務からの改善にも繋がっていく。</b> 生成用AIをぜひ導入いただきたいです。
7	・考える(アイデア出し・案出し)系の業務が重なった時期だったため、かなり役に立ったと感じています。 ・今回の実証実験とは関係ありませんが、現在の生成AIツールは、文字だけが対象ですが、 <b>今後資料やチラシの構成・デザインを考えてくれるAIが出てきてくれたらいい</b> なと思っています。(最近のパワポはそういった機能(デザイナー)が付いている?)
8	実際に試用してみて、生成AIツールの進化スピードは上がり益々便利になると感じた。本当に今ある仕事の多くは人間がする必要がなくなると思う。これから先、人間が生成AIツールに使われないように、人間の特性である「考える」力も進化しないといけないと感じた。
9	まだ改善は必要だと思うが、 <b>使い方次第で業務の時間削減は期待できる。</b> <b>全庁的に積極的に使用する環境を整備してほしい。</b>
10	まだまだ <b>未成熟で、信用に足る回答が帰って来るケースは少ない。</b> 平気で誤りを、しかも一見理路整然と提案してくるので、 <b>未成年が使用するのは危険</b> だと思う。 <b>回答を質問者が確認する必要があるが、これでは本末転倒</b> だ。まあ、雑談相手には良いと思うので、そのような娯楽的用途であれば使用できると思うが、質問者の望む答えしか返ってこないようだと、それも問題か。
11	一般的に社会で話題に上がるような事項でネットでよく見かけるものは、精度が高いが、 <b>学術的な考えや専門的な事項は、あまり精度が高くない。</b> また、 <b>宝塚市に限ったことなど特定のことは、回答精度が高くない。</b>

# 自由記述

緑字：プラス意見  
赤字：マイナス意見  
青字：要望・提案

## ⑦ その他、自由記述

No.	回答
12	使用頻度はそれほど高くはありませんでしたが、あると便利なツールではあると感じました。様々な活用方法を知ること、さらに活用の幅が広がると思います。
13	将来的には、各企業や各自治体内でのルールを専用に学習させ、業務手引きの参照が容易になるようなツールも出てくると思う。ツールの発展を待ってから導入すべきか、現時点でも小さく始める形で導入して活用の幅を広げていくべきか、検討が必要だと感じた。
14	前の質問でも書かせてもらったとおり、確立されたコードによって定型化されたツールを使用するうえでは大きな効率化が達成できるとは思いますが、その前提知識がある職員が少なすぎる。 プログラミングを初めデジタルツールのリテラシーは、一部の詳しい人だけのものという時代ではなく、事務職員一人ひとりが身に付けていくべきものになったと感じています。 経営改革推進課が全庁的に研修に取り組んでおられますが、特に若手世代の職員に対しては、全員必修の基礎知識としてデジタルの素養を身に付けさせるべきだと考えます。
15	いろいろな人の活用事例を聞いてみたいです。
16	このような取り組みは素晴らしいと感じています。 今後も積極的に取り組んでいただけるとありがたいです。
17	私自身、有効な活用方法が現状見えていないです。 正確な内容が要求される場合、出てきた回答について、改めて自分で調べるなどの作業が必要になるため、アイデア出しなどの業務のきっかけとなる部分には活用ができるのかなという印象でした。



# 04

## 今後の方向性



## 今後の方向性

---

ツールの導入について引き続き検討します

今後、自治体内部で独自に学習させることのできるサービスや、業務削減の効果が高いサービスなどが出てきた場合、ツール導入の可能性を検討します。  
当面はインターネット上で使うことのできる公開サービスを活用していきます。

ChatGPT等の生成AIを使った各種サービスの利用についてガイドラインを作成します

生成AIの利用について、安全かつ効果的に活用するためのガイドラインを作成します。  
ガイドラインには、所属長の許可を得て使うことや、入力データを学習しない設定（オプトアウト）可能なものに限ることなどのルールを盛り込みます。





THANK YOU!

ご協力ありがとうございました

